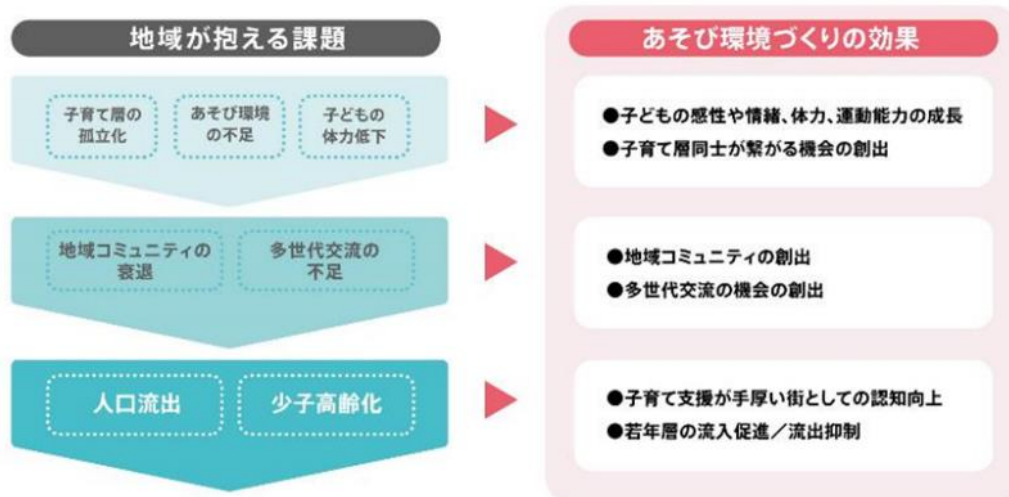


「あそび」を通じた自治体との協業で、地域の課題解決に貢献 神奈川県 相模原市、南足柄市との取り組みご紹介 移動式の遊び場事業展開や遊び場づくりの協定を締結

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、あそびを通じた自治体との協業を加速しています。今年6月より、神奈川県相模原市と協業して、新規事業「移動式子どもの遊び場」を展開。また、神奈川県南足柄市と7月27日に「南足柄市こどもの遊び場づくりパートナー協定」を締結し、子どもが健やかに成長できるよう、自然豊かな市の環境を生かした遊び場づくりを推進することに合意しました。

加速する、自治体との遊び環境開発 … 「あそび」が地域の課題解決に貢献

昨今、子どもが存分に体を動かして遊べる環境が減少し、子どもの体力やコミュニケーション能力の低下が危惧されています。こうした問題を解決すべく、当社は自社の室内あそび場「キドキド」の開発・運営で培ったノウハウを生かし、自治体と協働して、これまで全国に60ヵ所以上のあそび場を開発してきました。また、公園や公共施設などに移動式の遊び場を提供し、外遊びを楽しむきっかけづくりも行っています。これらの施設や取り組みは、子育て中の親と子に加えて、幅広い世代の方々が交流するきっかけを生み出し、あそび場は地域のコミュニティのハブとして街の活性化にも寄与しています。



神奈川県相模原市「移動式子どもの遊び場」：2022年6月～

神奈川県相模原市は、県北部に位置する人口約72.6万人の政令指定都市です。東京都心へのアクセスの良さと、相模湖や津久井湖をはじめとする自然豊かな立地から、ベッドタウンとして人気があります。市では、子育てがしやすい地域づくりのために、子どもが生まれ育った環境によらず、健やかに成長できる街をつくる事業計画「さがみはら子ども応援プラン」を策定・推進しています。

その一環として、市内の屋内外施設を活用し、多様な遊具を揃えた「移動式子どもの遊び場」を展開する事業を、当社と協業して今年6月より開始しました。身体を動かすあそびや創造力を養うあそびを通じて子どもたちの成長を後押しし、子育て家庭の孤立化を防ぐことを目指し、未就学児とその保護者を対象にしています。年間6回の開催を予定し、今年6月と8月の開催では、計150名を超える親子が参加しました。この移動式遊び場には、子どもの興味や発達に沿ったあそびを提案する、当社のプレイリーダーが常駐し、子どもの「やってみたい」という意欲を引き出し、子ども同士のあそびや、親同士の交流を促しています。

【「移動式子どもの遊び場」事業 実施の様子】



発達に合わせて、身体を動かして楽しめる道具を用意。親子で様々な動きを体感できるあそびをプレイリーダーが紹介し、ダイナミックな動きにチャレンジしたり、親子同士で一緒に遊んだりしました。参加者からは、「プレイリーダーから、からだ遊びのコツを知ることができ、ためになった」「コロナ禍でイベント参加の機会がなかったので、のびのびと遊ぶ我が子の姿が見られてよかった」といった感想をいただいています。次回は9月23日（金祝）、屋外の相模総合補給廠一部返還地にて、参加定員を増やし開催予定です。

	日程	場所	参加者数・定員等
第1回	6月15日（水）	相模女子大学グリーンホール	参加者数：計37組89名
第2回	8月4日（木）	杜のホールはしもと	参加者数：計32組78名
第3回	9月23日（金祝）	相模総合補給廠一部返還地	定員：120組400名程度
第4回	10月下旬（土曜または日曜）	屋外大規模会場（緑区）	
第5回	11月下旬（土曜または日曜）	屋外大規模会場（南区）	
第6回	令和5年2月上旬	屋内施設（中央区）	

※相模原市 HP <https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/kosodate/1018528/1025046.html>

神奈川県南足柄市「南足柄市こどもの遊び場づくりパートナー協定」締結：2022年7月27日

神奈川県南足柄市は、県西部に位置する、豊かな緑と水に恵まれた人口約4万人の街です。昨今の子育て世代をはじめとした人口の減少に対応すべく、市は子どもと子育て家庭を支える街づくりを推進し、今年4月には大雄山駅前の商業施設「ヴェルミ2」の3階に、「南足柄市子育て支援拠点施設 にこっと」を開設しました。

今年5月には「にこっと」内で、当社と連携したあそびイベントを開催し、約1,000名の市民の方に参加いただいて好評を博しました。これを受けて、7月27日に「南足柄市こどもの遊び場づくりパートナー協定」を当社と締結し、子どもが健やかに成長できるよう、自然豊かな市の環境を生かしたあそび場づくりを両者で推進していくことに合意しました。



移動式あそび場イベント 実施の様子

【「南足柄市こどもの遊び場づくりパートナー協定」概要】

■ 目的

南足柄市に暮らす子どもたちが、健やかに成長できるよう自然豊かな南足柄市の環境を生かした遊び場づくりについて、南足柄市とポーターランドの連携を通じて推進すること

■ 締結日

2022年7月27日

■ 内容

- ・公共施設を活用したこどもの遊び場づくりに関すること
- ・あそびを通じたこどもの居場所づくりに関すること
- ・外遊びの環境整備に関すること
- ・遊具の維持管理に関すること



パートナー協定 締結式の様子

自治体と協業した遊び場の開発 事例紹介（愛知県・京都府）

愛知県春日井市：子ども屋内あそび場「ぐりんぐりん」（2022年2月オープン）



春日井市では、核家族化や共働き家庭の増加など子育て環境が変化し、地域で子育てを見守る体制づくりや、小学生が放課後に過ごせる環境整備のニーズが高まっていました。こうした状況をふまえ、緑豊かな落合公園の中にある施設内に、天候に左右されず利用できる子ども屋内あそび場「ぐりんぐりん」を開発しました。学童期の子どもが放課後に過ごせる場所となるよう、当社がプロデュースする自治体のあそび場で初めて、小学生以上は保護者同伴でなくても利用できる運営体制としました。オープン以来、多くの親子や小学生に利用されています。

京都府京都市西京区：「京都市交流促進・まちづくりプラザ」（2020年9月オープン）



京都市は、阪急電鉄とともに阪急洛西口駅～桂駅間の線路の高架化事業により生み出される空間を活用し、西京区エリア全体の活性化を目指す「洛西口～桂駅間プロジェクト」に取り組んでいます。同プロジェクトの一環として、豊かで活力ある地域社会の形成を目指す「京都市交流促進・まちづくりプラザ」を、市と協働して開発しました。2024年3月末まで当社が指定管理者となり、京都市や地元のNPOと協力しながら市民の交流や子育て支援、イベントや講座を当施設で企画実施し、「あそび」で人と人、さらに人とまちをつなぐ取り組みを推進しています。オープン以来、1年半で、のべ約7.7万人の市民に利用されています。

【ボーンランドについて】

ボーンランドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国64ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では「プレイヴィル」「トット・ガーデン」を含む直営のあそび場全国25ヶ所、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた行政のあそび場を全国約60ヶ所プロデュース、年間350万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーンランド 広報部
担当：西山、村上
TEL：03-5785-0860、080-5901-3591
e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）】

株式会社ボーンランド
TEL: 0120-358-518（月～金 10:00～17:00）